

2026年度 入学試験要項

帰国・外国人生徒選抜
社会人1年次選抜
別科（仏教専修）選抜
編入学選抜
社会人編入学選抜

BUKKYO UNIVERSITY

 佛教大学

目 次

- 入学試験要項〔帰国・外国人生徒選抜〕—————1
- 入学試験要項〔社会人1年次選抜〕—————4
- 入学試験要項〔別科（仏教専修）選抜〕—————7
- 学部1年次・別科選抜入学試験出願資格について — 10
- 入学試験要項〔編入学選抜・社会人編入学選抜〕 — 11
- 編入学者の教員免許状・資格の取得について — 14
- 入学試験共通の確認事項 ————— ⑧-1

※本入学試験要項に掲載されている看護学部看護学科は2026年4月設置届出中（2025年6月現在）

天候や感染症拡大等の影響により、入試日程・合格発表日等を変更する場合があります。受験の前には必ず本学WEBサイトを確認してください。

入学試験要項

同一出願期間の入試種別について、複数出願することはできません。

〔帰国・外国人生徒選抜〕

■ 制 度

帰国生徒または日本に在留する外国人で、海外で豊かな学習・生活体験を積んだ者を対象（詳細は下記の出願資格を参照）に行う併願可能な入学試験制度です。

■ 出 願 資 格

日本国籍を有する者または日本に在留する外国人（「出入国管理及び難民認定法」の第二条の二に規定する別表第二に定める在留資格を有する者）で、国内外を問わず学校教育における12年の課程を修了した者、または修了見込の者、あるいはそれと同等以上の学力があると本学が認めた者で、次の①から⑤のいずれかに該当する者であり、かつ日本語理解、表現に関する能力を有する者。

※大学入学資格として少なくとも12年の教育課程を基本とする国において、「飛び級」等により、通算教育年数12年に満たないで卒業（修了）した者または卒業（修了）見込の者を含む。

①外国の高等学校または高等学校相当の課程に2年以上継続して在学し、外国の高等学校（または高等学校相当の課程）あるいは日本の高等学校（中等教育学校を含む）を2026年3月31日までに卒業（修了）した者、および卒業（修了）見込の者。

※外国の高等学校には、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設を含む。

②中学校・高等学校または中学校・高等学校相当の課程を通じ3年以上外国の学校で教育を受け、2026年3月31日までに日本または外国の高等学校（または高等学校相当課程）を卒業（修了）した者、および卒業（修了）見込の者。ただし日本の高等学校在籍は2年以内であること。

③通算6年以上または継続して4年以上外国で教育を受け、帰国（入国）後、日本の高等学校（中等教育学校を含む）を2026年3月31日までに卒業した者、および卒業見込の者。

④国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格（フランス共和国）、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格、インターナショナルAレベル資格、ヨーロッパ・バカロレア資格を2026年3月31日までに授与、および授与見込の者。

⑤学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込の者（詳細はp.10を参照）

■ 入 学 定 員

若干名 ※保健医療技術学部、看護学部（設置届出中）を除く

■ 出 願 期 間 ・ 試 験 日 ・ 試 験 会 場

出 願 期 間	試 験 日	試 験 会 場
2025年10月3日(金)～10月9日(木)※	2025年10月25日(土)	佛教大学 紫野キャンパス

※書類提出は締切日までの消印有効です。

■ 試 験 科 目 ・ 時 間 割 ・ 配 点

試 験 科 目	配 点	時 間 割
小 論 文	100点	10:00～11:00
面 接	3段階評価	12:00～順次実施

◎小論文は全学部・学科同一問題とし、論題を与え意見を求める方法とします。
◎面接は1名の受験生に対して複数の教員が実施します。
◎英米学科の面接は英語を含みます。

■ 選考方法

- 試験科目の結果および出願書類等を総合的に評価し、合格者を選考します。
- 未受験科目があった場合、合否判定の対象となりません。

■ 出願書類

【志願者全員】

- (1) 入学志願書（学部）[本学所定用紙]
- (2) 写真票 [本学所定用紙]（写真1枚貼付）
 - 詳細は p. ㊦-2 を参照
- (3) 帰国・外国人生徒経歴書 [本学所定用紙]
- (4) 入金確認書類
 - 入金が確認できるものを提出してください。詳細は「⑤入学試験検定料について」(p. ㊦-2) を確認してください。

(以下の出願書類で、日本語・英語以外の言語で記載されたものには、日本語の教員等（本人以外）が日本語に訳したものを必ず添付してください。)

【出願資格①～③の者】

- (1) 在学期間を証明する書類
外国の学校（高等学校・中学校・小学校）が作成したもの
- (2) 高等学校の全期間の成績を証明する書類
日本の高等学校に在学したことのある者…調査書（学校長が作成し厳封したもの。発行日より3か月以内のもの）
外国の高等学校に在学したことのある者…成績証明書（外国の高等学校が作成したもの）

【出願資格①②の者】

- (1) 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書（外国の高等学校が作成したもの）

【出願資格④の者】

- (1) 国際バカロレア等の資格証明書のコピーと成績評価証明書（各試験本部が作成したもの）

【日本に在留する外国人】

- (1) 在留カードまたは外国人登録証明書のコピー
在留資格が「留学」の場合、帰国・外国人生徒選抜は出願できません。
留学生1年次選抜に出願してください。

※書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。

※書類の記入にあたっては、必ず黒のボールペンを使用し、間違いのないよう記入してください（フリクション等の消せるペンは使用不可）。

本学所定用紙は、本学 WEB サイトの入試情報より「A4 サイズ」・「片面印刷」・「白紙」で出力してください。

<https://www.bukkyo-u.ac.jp/admission/exam/download/>

■ 入学試験検定料

出願期間中に 35,000 円を納入してください。

納入方法については「⑤入学試験検定料について」(p. ㊦-2) を確認してください。

■ 出願方法

出願は郵送に限ります。日本郵便の「レターパックプラス」に宛名ラベル [本学所定用紙] を貼付し、出願期間内に書類を送付してください。

■ 受 験 票

- 受験票は、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に送付します。届き次第、入試種別、氏名（カナ・漢字）、試験日、受験学科を確認してください。誤りがあった場合は、入学部まで速やかに申し出てください。
- 試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、入学部まで問い合わせてください（土・日・祝を除く）。

■ 結果発表・入学手続

結 果 発 表	入 学 手 続 締 切	
	学 費	書 類
2025年11月4日(火)	2025年11月20日(木) まで ＜締切日振込有効＞	2025年11月20日(木) まで ＜必着＞

- 結果発表は、本学 WEB サイトにて合格者の受験番号を掲出する方法で行います。パソコン・携帯電話・スマートフォン等から確認してください。
- 掲出期間は、発表日を含め4日間、時間は発表日の10:00より最終日の16:00までです。
- 掲出による発表は速報です。合格者には本学から結果発表日に合格通知書および入学手続書類を、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に郵便にて発送します。なお、不合格者には通知書等の送付は行いません。
- 合否に関して、本学への電話による結果の確認、問い合わせなどについては一切応じません。
- 納入期限までに所定の学費を納入した方で、やむを得ず入学を辞退し学費の返還を希望する場合は、2026年3月31日正午までに学費返還に関する申請書（本学所定用紙）の提出があれば、入学金を除く学費を返還します。なお、返還にあたっては、返還手数料5,000円を差し引いて返還します。

■ そ の 他

「入学試験共通の確認事項」（巻末）に、「出願および受験に関する注意事項」や「佛教大学のアドミッション・ポリシー」等を掲載していますので、熟読しておいてください。

入学試験要項

同一出願期間の入試種別について、複数出願することはできません。

〔社会人1年次選抜〕

■ 制 度

社会人を対象（詳細は以下の出願資格を参照）に行う併願可能な入学試験制度です。

■ 出 願 資 格

次の(1)～(3)のいずれかの項目に該当し、かつ(4)(5)の両方に該当する者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込の者
- (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込の者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込の者（詳細はp.10を参照）
- (4) 2026年4月1日時点で満23歳以上の者
- (5) 出願時において計3年以上の職業経験のある者
 - 職業経験は常勤者が対象。なお、常勤の勤務に準じる非常勤（臨時職員・パートタイマー等）も含む。
 - 家事、在宅介護従事者は職業経験のある者と見なす。

■ 入 学 定 員

仏教学部 仏教学科 若干名

■ 出 願 期 間 ・ 試 験 日 ・ 試 験 会 場

種別	出 願 期 間	試 験 日	試 験 会 場
10月	2025年10月3日(金)～10月9日(木)※	2025年10月25日(土)	佛教大学 紫野キャンパス
2月	2026年1月13日(火)～1月19日(月)※	2026年2月14日(土)	

※書類提出は締切日までの消印有効です。

■ 試 験 科 目 ・ 配 点 ・ 時 間 割

試 験 科 目	配 点	時 間 割
論 文	100点	10:00～11:00
面 接	3段階評価	12:00～順次実施

◎論文は学科の基礎的な知識や考え方を問う内容とします。
◎面接は1名の受験生に対して複数の教員が実施します。

■ 選 考 方 法

- 試験科目の結果および出願書類等を総合的に評価し、合格者を選考します。
- 未受験科目があった場合、合否判定の対象となりません。

■ 出願書類

- (1) 入学志願書（学部）[本学所定用紙]
- (2) 写真票 [本学所定用紙]（写真1枚貼付）
 - ・詳細は p. ㊦-2 を参照
- (3) 調査書
 - ・出願時に学校長が作成し厳封したもの（発行日より3か月以内のもの）
 - ・卒業後の年数経過により調査書の発行ができない場合は、「卒業証明書」と「成績証明書」を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。
 - ・高等学校卒業程度認定試験合格者（見込者）・大学入学資格検定合格者は「合格証明書」「合格成績証明書」「合格見込成績証明書」のいずれかを提出してください（発行日より3か月以内のもの）。
 - ・その他、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められる者（見込者）については、「修了（見込）証明書」と「成績証明書」を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。
- (4) 志願者調書 [本学所定用紙3枚]（写真1枚貼付）
- (5) 職務等経歴書 [本学所定用紙]
- (6) 入金確認書類
 - ・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「⑤入学試験検定料について」（p. ㊦-2）を確認してください。

※書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。

※書類の記入にあたっては、必ず黒のボールペンを使用し、間違いのないよう記入してください（フリクション等の消せるペンは使用不可）。

本学所定用紙は、本学 WEB サイトの入試情報より「A4 サイズ」・「片面印刷」・「白紙」で出力してください。

<https://www.bukkyo-u.ac.jp/admission/exam/download/>

■ 入学試験検定料

出願期間中に 35,000 円を納入してください。

納入方法については「⑤入学試験検定料について」（p. ㊦-2）を確認してください。

■ 出願方法

出願は郵送に限ります。日本郵便の「レターパックプラス」に宛名ラベル [本学所定用紙] を貼付し、出願期間内に書類を送付してください。

■ 受験票

- ・受験票は、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に送付します。届き次第、入試種別、氏名（カナ・漢字）、試験日、受験学科を確認してください。誤りがあった場合は、入学部まで速やかに申し出てください。
- ・試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、入学部まで問い合わせてください（土・日・祝を除く）。

■ 結果発表・入学手続

種別	結果発表	入学手続締切	
		学費	書類
10月	2025年11月4日(火)	2025年11月20日(木)まで ＜締切日振込有効＞	2025年11月20日(木)まで ＜必着＞
2月	2026年2月24日(火)	2026年3月9日(月)まで ＜締切日振込有効＞	2026年3月9日(月)まで ＜必着＞

- 結果発表は、本学 WEB サイトにて合格者の受験番号を掲出する方法で行います。パソコン・携帯電話・スマートフォン等から確認してください。
- 掲出期間は、発表日を含め4日間、時間は発表日の10:00より最終日の16:00までです。
- 掲出による発表は速報です。合格者には本学から結果発表日に合格通知書および入学手続書類を、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に郵便にて発送します。なお、不合格者には通知書等の送付は行いません。
- 可否に関して、本学への電話による結果の確認、問い合わせなどについては一切応じません。
- 納入期限までに所定の学費を納入した方で、やむを得ず入学を辞退し学費の返還を希望する場合は、2026年3月31日正午までに学費返還に関する申請書（本学所定用紙）の提出があれば、入学金を除く学費を返還します。なお、返還にあたっては、返還手数料5,000円を差し引いて返還します。

■ その他

「入学試験共通の確認事項」（巻末）に、「出願および受験に関する注意事項」や「佛教大学のアドミッション・ポリシー」等を掲載していますので、熟読しておいてください。

入学試験要項

〔別科(仏教専修)選抜〕

■ 制 度

浄土宗教師（浄土宗僧侶）資格取得を希望する者を対象とした入学試験制度です。

■ 出願資格

次の(1)～(3)のいずれかの項目に該当し、かつ(4)に該当する者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込の者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込の者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込の者（詳細はp.10を参照）
- (4) 浄土宗の僧籍登録を済ませている者

■ 入学定員

40名

※得点状況等により、入学定員を充足しない場合があります。

■ 出願期間・試験日・試験会場

出 願 期 間	試 験 日	試験会場
2026年1月13日(火)～1月19日(月)※	2026年2月14日(土)	佛教大学 紫野キャンパス

※書類提出は締切日までの消印有効です。

■ 試験科目・配点・時間割

試 験 科 目	配 点	時 間 割
小 論 文	100点	9:00～10:00
面 接	3段階評価	10:30～順次実施

◎小論文は1,500字程度の文章を読み、数題の設問について解答する方法とします。

◎面接は1名の受験生に対して複数の教員が実施します。

■ 選考方法

- ・試験科目の結果および出願書類等を総合的に評価し、合格者を選考します。
- ・未受験科目があった場合、合否判定の対象となりません。

■ 出願書類

- (1) 入学志願書（学部）〔本学所定用紙〕
- (2) 写真票〔本学所定用紙〕（写真1枚貼付）
 - ・詳細は p. ㊦-2 を参照
- (3) 調査書
 - ・出願時に学校長が作成し厳封したもの（発行日より3か月以内のもの）
 - ・最終学歴が大学等であっても高等学校のものを提出してください。
 - ・卒業後の年数経過により調査書の発行ができない場合は、「卒業証明書」と「成績証明書」を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。
 - ・高等学校卒業程度認定試験合格者（見込者）・大学入学資格検定合格者は「合格証明書」「合格成績証明書」「合格見込成績証明書」のいずれかを提出してください（発行日より3か月以内のもの）。
 - ・その他、高等学校を卒業したものと同等以上の学力があると認められる者（見込者）については、「修了（見込）証明書」と「成績証明書」を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。
- (4) 「僧籍登録証明書」または「僧籍登録証」の写し
 - ・戸籍氏名と僧籍氏名とが異なる場合は、改名許可の旨が証明された書類の写しも提出してください。
- (5) 志願者調書〔本学所定用紙3枚〕（写真1枚貼付）
- (6) 入金確認書類
 - ・入金を確認できるものを提出してください。詳細は「⑤入学試験検定料について」（p. ㊦-2）を確認してください。

※書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。

※書類の記入にあたっては、必ず黒のボールペンを使用し、間違いのないよう記入してください（フリクション等の消せるペンは使用不可）。

本学所定用紙は、本学 WEB サイトの入試情報より「A4 サイズ」・「片面印刷」・「白紙」で出力してください。

<https://www.bukkyo-u.ac.jp/admission/exam/download/>

■ 入学試験検定料

出願期間中に 35,000 円を納入してください。

納入方法については「⑤入学試験検定料について」（p. ㊦-2）を確認してください。

■ 出願方法

出願は郵送に限ります。日本郵便の「レターパックプラス」に宛名ラベル〔本学所定用紙〕を貼付し、出願期間内に書類を送付してください。

■ 受験票

- ・受験票は、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に送付します。届き次第、氏名（カナ・漢字）、試験日を確認してください。誤りがあった場合は、入学部まで速やかに申し出てください。
- ・試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、入学部まで問い合わせてください（土・日・祝を除く）。

結果発表・入学手続

結果発表	入学手続締切	
	学 費	書 類
2026年2月24日(火)	2026年3月9日(月)まで ＜締切日振込有効＞	2026年3月9日(月)まで ＜必着＞

- 結果発表は、本学 WEB サイトにて合格者の受験番号を掲出する方法で行います。パソコン・携帯電話・スマートフォン等から確認してください。
- 掲出期間は、発表日を含め4日間、時間は発表日の10:00より最終日の16:00までです。
- 掲出による発表は速報です。合格者には本学から結果発表日に合格通知書および入学手続書類を、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に郵便にて発送します。なお、不合格者には通知書等の送付は行いません。
- 可否に関して、本学への電話による結果の確認、問い合わせなどについては一切応じません。
- 納入期限までに所定の学費を納入した方で、やむを得ず入学を辞退し学費の返還を希望する場合は、2026年3月31日正午までに学費返還に関する申請書（本学所定用紙）の提出があれば、入学金を除く学費を返還します。なお、返還にあたっては、返還手数料5,000円を差し引いて返還します。

そ の 他

- 「入学試験共通の確認事項」（巻末）に、「出願および受験に関する注意事項」や「佛教大学のアドミッション・ポリシー」等を掲載していますので、熟読しておいてください。
- 本学の学部を含む、他の高等教育機関等に学籍がある状態（休学中含む）での入学は出来ません。

別科（仏教専修）選抜受験者の師僧・保護者への説明会について

日時：2026年2月14日(土) 9:00～10:00

場所：佛教大学紫野キャンパス礼拝堂（水谷幸正記念館）

※浄山道場の見学に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

大本山清浄華院内 佛教大学浄山道場 TEL (075) 256-3505

学費・諸費一覧表

●別科

〔単位：円〕

費 目		別	科
※入 学 金		100,000	
学 費	授 業 料	348,000	
	教育充実費	150,000	
諸費	※教育後援会費	5,000	
合 計		603,000	
入学までに 必要な納入額	分割納入の場合	一括納入の場合	
	354,000	603,000	

- ※印は入学初年度のみ。
- 「分割納入」は授業料・教育充実費の半額と、入学金・諸費全額の合計金額です。
- 2年次以降の授業料等はその額を改定する場合があります。
- 2年次に、学費・諸費のほかに同窓会入会金5,000円と同窓会終身会費25,000円が必要です（学部等で納入済の場合を除く）。
- 学費・諸費のほかに、寮費200,000円（年額）、食費約340,000円（年額）、教科書・法具・実習用具代約200,000円（年額）、法務実習・学外研修等交通費（随時）、寮友会費（行事ごと）、居室の電気代（毎月）、海外研修旅行費約350,000円（隔年）、その他随時徴収する場合があります。なお、上記費用は、物価の上昇により変更となる場合があります。その時は、別途お知らせします。

学部1年次・別科選抜入学試験出願資格について

出願資格（p. 1、p. 4、p. 7）の「学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込の者」の詳細は以下のとおりです。

- ①外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者および 2026 年 3 月 31 日までに修了見込の者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および 2026 年 3 月 31 日までに修了見込の者
- ③専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および 2026 年 3 月 31 日までに修了見込の者
- ④文部科学大臣の指定した者
- ⑤高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）および 2026 年 3 月 31 日までに合格見込の者
- ⑥学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学に入学するにあたり、本学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑦個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で 2026 年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者

なお、⑦に該当する方を対象に、個別の入学資格審査を実施します。

入学資格審査を希望する方は、申請書類を本学 WEB サイトからダウンロードし下記申請期間内に手続きしてください。

入学資格審査申請期間：2025年9月1日(月)～ 10月31日(金)〈消印有効〉

※入学資格審査の結果は2025年12月末までに通知します。よって認定を受けた方の出願は、2026年2月以降に実施の入学試験から可能となります(2025年10月実施の入学試験への出願はできません)。

入学試験要項

同一出願期間の入試種別について、複数出願することはできません。

〔編入学選抜・社会人編入学選抜〕

■ 出願資格

◆編入学

次のいずれかの項目に該当する者

- (1) 大学、短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所、国立養護教諭養成所のいずれかを卒業した者および2026年3月卒業見込の者
- (2) 大学に2年以上在学（休学期間を除く）し、退学した者および2026年3月退学予定の者
- (3) 大学入学有資格者で、文部科学大臣の定めた基準（修業年限2年以上、課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上）を満たす専修学校の専門課程を修了した者および2026年3月修了見込の者
- (4) 高等学校等専攻科（中等教育学校後期課程専攻科および特別支援学校専攻科を含む）を修了した者および2026年3月修了見込の者
- (5) 文部科学省令によって上記と同等以上の資格があると認められた者

◆社会人編入学

次のすべての項目に該当する者

- (1) 2026年4月1日時点で満25歳以上の者
- (2) 大学、短期大学を卒業した者および2026年3月卒業見込の者、または大学に2年以上在学（休学期間を除く）し、退学した者および2026年3月退学予定の者、または大学入学有資格者で、文部科学大臣の定めた基準（修業年限2年以上、課程の修了に必要な総授業時間数1,700時間以上）を満たす専修学校の専門課程を修了した者および2026年3月修了見込の者
- (3) 出願時において計3年以上の職業経験のある者
・職業経験は常勤者が対象。なお、常勤の勤務に準じる非常勤（臨時職員・パートタイマー等）も含む
・家事、介護（在宅）従事者は職業経験のある者と見なす

■ 学部・学科および編入学定員・年次

学 部	学 科	編入学定員	編入学年次
仏 教	仏 教	若干名	第3学年
	日 本 文		
	中 国		
文	英 米	(注)	/
	歴 史		
歴 史	歴 史 文 化	若干名	第3学年
	教 育		
教 育	幼 児 教 育	(注)	/
	臨 床 心 理		
	現 代 社 会		
社 会	公 共 政 策	若干名	第3学年
	社 会 福 祉		

※英米学科・臨床心理学科については、2年間で卒業できない場合があります。

出願前に必ず入学部入学課までお問い合わせください。

(注) 歴史学部および社会学部については、収容定員の関係により、2026年度の募集はありません。

■ 出願期間・試験日・試験会場

種別	出願期間	試験日	試験会場
10月	2025年10月3日(金)～10月9日(木)※	2025年10月25日(土)	佛教大学 紫野キャンパス
2月	2026年1月13日(火)～1月19日(月)※	2026年2月14日(土)	

※書類提出は締切日までの消印有効です。

■ 試験科目・配点・時間割

入学試験種別	試験科目	配点	時間割
編入学選抜	英語 (中国学科は英語・中国語より1科目選択)	100点	9:00～10:00
	論文	100点	10:30～11:30
	面接	3段階評価	12:30～順次実施
社会人編入学 選抜	論文	100点	10:30～11:30
	面接	3段階評価	12:30～順次実施

◎論文は学科別設題とし、志望する学科の基礎的な知識や考え方を問う内容とします。
 ◎面接は1名の受験生に対して複数の教員が実施します。
 ◎英米学科の面接は英語を含みます。

■ 選考方法

- ・各入学試験種別の試験科目の結果および出願書類等を総合的に評価し、合格者を選考します。
- ・未受験科目があった場合、合否判定の対象となりません。

■ 出願書類

- (1) 入学志願書(学部) [本学所定用紙]
- (2) 写真票 [本学所定用紙] (写真1枚貼付)
 - ・詳細はp. ㊦-2を参照
- (3) 卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込証明書(発行日より3か月以内のもの)
 - ・大学を退学した場合は「在籍(期間)証明書」(在学期間・休学期間と離籍が確認できるもの)を提出してください。
 - ・大学在学者で「卒業(見込)証明書」が発行されない(退学予定)場合は「在学(期間)証明書」(在学期間・休学期間が確認できるもの)を提出してください。
- (4) 成績証明書(発行日より3か月以内のもの)
- (5) 志願者調書 [本学所定用紙3枚] (写真1枚貼付)
- (6) 入金確認書類
 - ・入金が確認できるものを提出してください。詳細は「⑤入学試験検定料について」(p. ㊦-2)を確認してください。
- (7) 職務等経歴書 [本学所定用紙]
 - ・社会人編入学選抜を出願する場合は提出してください。
- (8) 編入学資格証明書 [本学所定用紙]
 - ・専修学校の専門課程修了(修了見込)の方のみ提出してください。
 - ・出願時に専修学校長が作成し厳封したもの(発行日より3か月以内のもの)。

〈次頁に続く〉

※書類記載の氏名と現在の氏名が異なる場合、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を提出してください（発行日より3か月以内のもの）。

※書類の記入にあたっては、必ず黒のボールペンを使用し、間違いのないよう記入してください（フリクション等の消せるペンは使用不可）。

本学所定用紙は、本学 WEB サイトの入試情報より「A4 サイズ」・「片面印刷」・「白紙」で出力してください。

<https://www.bukkyo-u.ac.jp/admission/exam/download/>

■ 入学試験検定料

出願期間中に 35,000 円を納入してください。

納入方法については「⑤入学試験検定料について」(p. ㊟-2)を確認してください。

■ 出願方法

出願は郵送に限ります。日本郵便の「レターパックプラス」に宛名ラベル [本学所定用紙] を貼付し、出願期間内に書類を送付してください。

■ 受験票

- 受験票は、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に送付します。届き次第、入試種別、氏名（カナ・漢字）、試験日、受験学科、受験科目を確認してください。誤りがあった場合は、入学部まで速やかに申し出てください。
- 試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、入学部まで問い合わせてください（土・日・祝を除く）。

■ 結果発表・入学手続

種別	結果発表	入学手続締切	
		学費	書類
10月	2025年11月4日(火)	2025年11月20日(木)まで <締切日振込有効>	2025年11月20日(木)まで <必着>
2月	2026年2月24日(火)	2026年3月9日(月)まで <締切日振込有効>	2026年3月9日(月)まで <必着>

- 結果発表は、本学 WEB サイトにて合格者の受験番号を掲出する方法で行います。パソコン・携帯電話・スマートフォン等から確認してください。
- 掲出期間は、発表日を含め4日間、時間は発表日の10:00より最終日の16:00までです。
- 掲出による発表は速報です。合格者には本学から結果発表日に合格通知書および入学手続書類を、入学志願書記載の書類送付先住所へ本人宛に郵便にて発送します。なお、不合格者には通知書等の送付は行いません。
- 可否に関して、本学への電話による結果の確認、問い合わせなどについては一切応じません。
- 納入期限までに所定の学費を納入した方で、やむを得ず入学を辞退し学費の返還を希望する場合は、2026年3月31日正午までに学費返還に関する申請書（本学所定用紙）の提出があれば、入学金を除く学費を返還します。なお、返還にあたっては、返還手数料5,000円を差し引いて返還します。

■ その他

「入学試験共通の確認事項」（巻末）に、「出願および受験に関する注意事項」や「佛教大学のアドミッション・ポリシー」等を掲載していますので、熟読しておいてください。

■ ■ ■ ■ ■ 編入学者の教員免許状・資格の取得について ■ ■ ■ ■ ■

○教員免許状の取得について

教員免許状の取得にあたっては、所属学科および教員免許状の校種・教科により2年間での取得が困難な場合があります。また、卒業要件科目とは別に教員免許状取得に必要な科目を履修することや教育実習の実施にあたって、入学1年目の年度末に教育実習実施資格判定が行われること、加えて年間での履修科目の登録上限単位数（年間：44単位、半期：22単位）が定められていることから、入学年度の4月に2年間分の綿密な履修計画を立てる必要があります。教員免許状の取得を目的に編入学をお考えの場合や、すでに教員免許状を取得して、その所持している教員免許状をもとに単位の流用による教員免許状の取得を考えている場合は、事前に入学部入学課までご相談ください。

なお、教職課程にかかる科目を一部修得され、本学で不足科目の修得をお考えの場合は、入学時までに出身大学で必ず履修指導を受けていただく必要があります。出身大学による指導内容を踏まえて、履修計画を立ててください。

○資格の取得について

- ・図書館司書、博物館学芸員、社会教育主事については、2年間では取得できません。ただし、教育学部教育学科に編入学し、社会教育主事資格を取得する場合、2年間で資格取得が可能（1資格のみ取得の場合に限る）ですが、認定単位数によっては2年で卒業できない場合があります。
- ・幼児教育学科に編入学する場合
幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を、2年間で取得することはできません。
- ・社会福祉学科に編入学する場合
保育士、精神保健福祉士国家試験受験資格については、編入学により取得することはできません。
社会福祉士国家試験受験資格については、選考試験があり合格した者のみ履修できます。
なお、2年間で取得することはできません。
- ・公認心理師については、資格に必要な単位を2年間では修得できません。公認心理師試験受験資格を得るためには、公認心理師資格取得に関する4年制大学における必要な単位の修得に加えて、大学院における必要な単位の修得、または公認心理師法で定める施設での必要期間以上の実務経験が必要です。

○通信教育課程との併修履修制度「免許併修」について

本学には、入学した学部・学科では取得できない教員免許状を、通信教育課程で履修することにより取得できる「免許併修」制度があります。ご希望の方は入学後早急に通信教育課程「免許併修」の入学手続きを行う必要があります。「免許併修」制度を利用し、教員免許状の取得をお考えの場合は、入学後、速やかに進路支援部教職支援課までご相談ください。

また、浄土宗教師資格についても、「資格併修」制度を利用し、取得する方法もあります。詳細については、入学部入学課までお問い合わせください。

出願までに必ず熟読してください

入学試験共通の確認事項

- 出願および受験に関する注意事項
- 受験上の配慮について
- 近畿圏外からの入学支援奨学金〈給付型〉
- 学費・諸費一覧表
- 高等教育修学支援新制度について
- 受験生の個人情報取り扱いについて
- 佛教大学のアドミッション・ポリシー

■試験会場への入室

- ①試験開始の20分前までに指定の会場に入室してください。会場は当日、掲示にて指示します。
- ②遅刻者は各時間の試験開始後、試験室に20分以上遅刻して入室した場合は受験できません。
- ③受験番号が机面上に表示してありますので、確認のうえ、着席してください。
- ④前日の試験会場の下見は可能です。ただし建物内に立ち入ることはできません。
- ⑤自家用車・バイクでの来場は禁止します。また、周辺道路や近隣施設等への無断駐車はおやめください。

■持ち物・筆記用具

- ①受験票
- ②使用できる筆記用具等は、黒鉛筆およびシャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り・時計（時計機能だけのもの・スマートウォッチ不可）のみです。
- ③試験中は、携帯電話などの電子機器類や音の出る機器は電源を切り、カバンの中に片づけてください。
- ④試験会場内に大きな荷物を持ち込まないでください。
- ⑤試験会場には時計を設置していませんので、時計（時計機能だけのもの・スマートウォッチ不可）を持参してください。

■試験時の注意

- ①受験票は机の上に置いてください。
- ②試験時間中の途中退室はできません。
- ③ブランド名や製品名、ロゴマークなどを除き、英語や地図等が印字された衣服や筆記具等を着用・使用しないでください。

■不正行為について

以下に該当する場合、不正行為となります。不正行為となった場合、その場で試験の中止と退場を命じ、それ以降の受験はできません。

なお、すでに受験した当該年度の入学試験もすべて無効とします。また、これらを含めて検定料は一切返還しません。

- 出願書類の偽造・虚偽記載をすること
- カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること
- 使用を禁じられた用具を使用すること
- 問題（冊子）を切り離すこと
- 試験時間中に問題冊子や解答用紙を外に持ち出すこと
- 監督者の指示に従わないこと
- 他の受験生の迷惑となる行為をすること
- その他、試験の公平性を損なう行為をすること

■健康管理について

健康管理を心がけてください。持病のある方は常備薬を用意し、体調不良の方は事前に医療機関にて受診をしてください。日常より、手洗い・うがいの励行、マスクの着用等、自己の健康管理に十分注意のうえ、受験に臨んでください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、受験者が学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮いただきます。ただし、病状により学校医やその他の医師において伝染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置は行いません。罹患された場合は、試験当日までに入学部へご連絡ください。

感染症等の影響により、必要な措置を講じる場合があります。受験の前に本学 WEB サイトにて確認をお願いします。

■その他

- ①本学より緊急の連絡事項等がある場合は本学 WEB サイトへ掲載しますので、受験の前に確認するようにしてください。
- ②受験に際して京都市内のホテル等に宿泊を希望する場合は、各自で早めに予約してください（行楽シーズンは宿泊施設の確保が困難になる場合があります）。
- ③試験会場周辺での学生マンションの幹旋等は、本学とは関係がありません。これらによるトラブルには一切関知しませんので注意してください。

受験上の配慮について

佛教大学では、障害や病気等の理由により受験に際して配慮を希望する方に、申請に基づき受験上の配慮を行っています。配慮の基準や内容等は、大学入試センターの「受験上の配慮案内」を参考とし、配慮内容によっては試験地が京都（本学）会場のみとなります。

受験上の配慮（例）

点字解答／文字解答／注意事項の文書伝達／試験時間延長／座席位置／補助具の持込 等

受験上の配慮を希望する場合は、各入学試験出願開始日の原則 1 か月前までに、本学所定の「受験配慮申請書」を含む申請書類を以下の手順で入学部にお送りください。提出された申請書類をもとにヒアリングを行い、障害等の程度・種類により、適宜、受験上の配慮や入学後の修学についての事前面談等を調整します。

なお、すべての受験者が公平な条件のもと実施する入学試験において、個々の症状や状態等に応じた合理的配慮を提供するためには、個別具体的な検討の根拠として、医師の診断書等の根拠資料が必要です。そのため、可能な限り早い段階でお申し出ください（期限後のお申し出の場合、配慮内容が限定される場合や、調整が難しい場合があります）。

<受験上の配慮申請方法>

「受験配慮申請書」を含む申請書類を準備する

以下の書類を作成・準備してください（受験を検討されている段階でも構いません）。

- ①「受験配慮申請書」[本学所定様式] ※本学 WEB サイトからダウンロードしてください。
受験上の配慮申請は、原則として入試種別ごとに申請を受け付けます。



- ②根拠資料（求める配慮内容に対し整合性や客観性を裏付ける書類／いずれもコピー可）
- ・身体障害者手帳
 - ・医師の診断書（発行日より3か月以内のもの、具体的な症状や状態が記されているもの）
 - ・心理検査・発達検査の結果、所見等
または上記に準ずるもの（これまでの教育機関における配慮事項等）
- ③大学入学共通テスト受験上の配慮事項に関する通知等（コピー） ※該当者のみ

申請書類を大学に提出（郵送）する

「受験配慮申請書在中」と記入し簡易書留（またはレターパックプラス）で郵送ください。
送付先：〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96 佛教大学入学部 宛

大学にて配慮内容の審議・決定

申請書類の到着後、本学から連絡し、ヒアリングのうえで対話に基づく合意形成ならびに配慮希望内容を確認します（申請しない場合はこの時点でお申し出ください）。
申請情報は、入学部ならびに志望学部や学生支援部署等の関連部署間で共有します。
申請書類、ヒアリングの内容を踏まえて、大学にて配慮内容を審議・決定します。

大学から「受験配慮決定通知」を受け取る

配慮内容の決定後、大学からお送りする「受験配慮決定通知」は出願書類となりますので、出願まで大切に保管してください（「受験配慮決定通知」は入試種別ごとに発行します）。

出願時に「受験配慮決定通知」を提出する

出願期間に、出願書類として「受験配慮決定通知」を提出してください。
出願時の「受験配慮決定通知」の提出をもって、最終の受験上の配慮希望とみなします。
上記の提出がない（意思確認が取れない）場合は通常受験となりますのでご注意ください。

受験する（試験当日）

「受験票」を持参し受験ください。「受験配慮決定通知」のコピーを提出する必要はありません。伝達事項が発生する場合がありますため、試験会場には試験開始30分前（通常20分前）を目安に余裕をもってお越しください。

その他

ご質問・ご相談は随時受け付けていますので、入学部までお問い合わせください。
なお、個人情報とは、「佛教大学個人情報保護に関する指針」に基づき取り扱い、申請内容に関わる情報（個人情報情報を除く）は、入学部や学生支援部署等の関連部署間で共有し、受験上の配慮や入学後の修学に関する配慮の検討や準備の目的で活用することがあります。
※出願後、不慮の事故等により「受験上の配慮」を希望する場合は、至急、入学部まで申し出てください。

近畿圏外からの入学支援奨学金〈給付型〉

日本国内に居住し、出身高等学校の所在地が近畿圏外（京都府・大阪府・滋賀県・兵庫県・奈良県・和歌山県以外）の者で、本学に入学した者〔編入学、転籍、大学院、別科（仏教専修）および留学生（1年次選抜・編入学選抜）を除く〕へ一律100,000円を給付する制度です。

また、通信制高等学校出身者および近畿圏内の高等学校出身で本人が近畿圏外に居住している場合は、入学手続時における本人の居住地が住民票にて日本国内で近畿圏外であることが確認できる方も対象となります。
詳細は合格発表後に案内する『入学のしおり』にてご確認ください。

学費・諸費一覧表

[単位：円]

学部		仏教学部・文学部・ 歴史学部・社会学部・ 社会福祉学部	教育学部	保健医療技術学部・ 看護学部 ^{※3}			
費目	学 金	250,000	250,000	250,000			
※2 学 費	授 業 料	870,000	920,000	1,350,000			
	教 育 充 実 費	100,000	130,000	250,000			
諸 費	※1教育後援会費	20,000	20,000	20,000			
	※1学友会入会金	1,000	1,000	1,000			
	学 友 会 費	4,500	4,500	4,500			
合 計		1,245,500	1,325,500	1,875,500			
必要 な 納 入 額	学費一次納入額 (入学金)	250,000		250,000		250,000	
	学費二次納入額 (授業料・設備費・諸費)	分割納入の場合	一括納入の場合	分割納入の場合	一括納入の場合	分割納入の場合	一括納入の場合
	入学金+ 授業料・設備費・諸費	510,500	995,500	550,500	1,075,500	825,500	1,625,500
		760,500	1,245,500	800,500	1,325,500	1,075,500	1,875,500

※1 入学金、教育後援会費、学友会入会金は初年度のみ。

※2 本学では入学年度の納入金の負担を軽減するため、入学初年度の教育充実費を低額に設定しており、2年目以降の学費納入額は初年度と概ね均一になるように設定しています。

※3 看護学部の学費・諸費は保健医療技術学部準ずる予定です。

■ 「分割納入」は授業料・教育充実費の半額と、入学金・諸費全額の合計金額です。

■ 4年次に、学費・諸費のほかに同窓会入会金 5,000 円と同窓会終身会費 25,000 円が必要です。

■ 教育実習および介護等体験、社会福祉実習等に要する費用、英米学科の留学に関する費用等は別途必要です。また、保健医療技術学部・看護学部では実習に伴う交通費・宿泊費・食費等の費用を必要とする場合があります。

■ 浄土宗教師資格取得の場合は、1年間、道場での生活となります。道場入行時に食費等入行費用 550,000 円(分割納入可)、教科書・法具・実習用具代約 80,000 円が必要です。その他随時徴収する場合があります。

■ 卒業時には教員免許状申請料、各種課程受講料等の費用が必要な場合があります。

高等教育修学支援新制度について

「高等教育の修学支援新制度」では、授業料・入学金の減免と、給付奨学金により、意欲のある学生の「学び」を支援します。住民税非課税世帯またはそれに準ずる世帯・多子世帯および理工農系の中間層の学生に対し、給付奨学金の支給と合わせて授業料の一部および入学金を減免する制度です。その他に支援対象となる要件がいくつかありますので、詳細は日本学生支援機構のWEBサイトをご確認ください。なお、入学手続き時の給付は行われなため、入学金・学費・諸費については、一旦全額納入が必要となります。入学後に減免相当額を還付することになりますのでご了承ください。

受験生の個人情報の取り扱いについて

佛教大学では、入学試験の出願に際して志願者から提供された個人情報については、個人情報保護に関する法令等を遵守し、「佛教大学個人情報保護に関する指針」に基づいて、厳重に管理し、以下の業務に利用いたします。

受験票の送付、試験の実施、合否判定、結果通知、入学手続処理
下宿の紹介・斡旋、保険の紹介、入学前教育、統計資料の作成

また、これらの業務について、その一部を業者に委託することがあります。個人情報の預託にあたり、委託先を厳正に選定し、必要な指導・監督などを行い、「佛教大学個人情報保護に関する指針」に従った方法により適切に取り扱うよう管理します。

佛教大学のアドミッション・ポリシー

■佛教大学のアドミッション・ポリシー

佛教大学は、建学の理念である仏教精神を基盤として、社会で活動するために必要な知識や素養、専攻する学問分野における専門的な知識・技能を身につけ、生涯にわたって学び続けながら周囲の人々と協力し、自己実現や社会貢献に向けて活動することのできる人材の養成を目的としています。

このような本学の人材養成の目的に共感し、各専門分野において強い関心と学ぼうとする確かな意欲をもち、他者と協調・協働することで、自己実現や社会貢献に向けて主体的に活動する意欲がある多様な人を受け入れます。

そのために各種の入試制度を用いて、高等学校等で修得した以下の点について評価を行い、それらを備えた人を受け入れることを基本方針とします。

(1)知識・技能

入学を希望する学部学科での学修に必要な基礎学力、専門教育に関連する教科に関する知識・技能及びそれらに応用する力

(2)思考力・判断力・表現力

修得した知識・技能を活用し、学部学科での学びにかかわる基礎的または一般的問題・質問に文章・口頭で答えることができる力

(3)主体的に取り組む態度

学部学科の人材養成の目的にふさわしい学修への意欲・態度と、学力だけでは見出すことのできない能力や意欲、将来の可能性

<仏教学部>

仏教学部は、仏教および仏教に関連する領域についての基礎知識と専門知識を修得し、それらの知識を活用して問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析して、解決策を論理的に表現することを通じて、仏教の魅力を発信することや、現代社会が抱える諸問題に対応できる人材を養成することを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 人間の精神・歴史・芸術・社会・文化などについて、高等学校等で学ぶ基礎的な知識と分析力を備えている人【知識・技能】
- ② 仏教（インド・チベット・中国・日本など）および仏教に関連する領域（歴史・文学・美術など）に対して、強い関心と探究心を持ち、そのことを表現できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 仏教の魅力を発信することや、仏教の考え方によって、現代社会が抱える諸問題に、主体的に対応する意欲を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 浄土宗教師（浄土宗僧侶）となって浄土宗の教えを受け継ぎ、さらに広めていこうという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、仏教と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語（英語）」「公民」など、仏教学部での専門的な学修に必要な基礎学力を身につけるための教科についても幅広く学習していることを望みます。

●仏教学科

仏教学科は、仏教および仏教に関連する領域についての基礎知識と専門知識を修得し、それらの知識を活用して問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析して、解決策を論理的に表現することを通じて、仏教の魅力を発信することや、現代社会が抱える諸問題に対応できる人材を養成することを目的としています。そのため、次のような学生を求めています。

- ① 人間の精神・歴史・芸術・社会・文化などについて、高等学校等で学ぶ基礎的な知識と分析力を備えている人【知識・技能】
- ② 仏教（インド・チベット・中国・日本など）および仏教に関連する領域（歴史・文学・美術など）に対して、強い関心と探究心を持ち、そのことを表現できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 仏教の魅力を発信することや、仏教の考え方によって、現代社会が抱える諸問題に、主体的に対応する意欲を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 浄土宗教師（浄土宗僧侶）となって浄土宗の教えを受け継ぎ、さらに広めていこうという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、仏教と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語（英語）」「公民」など、仏教学科での専門的な学修に必要な基礎学力を身につけるための教科についても幅広く学習していることを望みます。

<文学部>

大学の人材養成の目的その他の教育研究上の目的を踏まえ、文学、文化および言語に関連する領域にかかわる知識を活用して、自己および他者を見つめて相互理解を形成し、さらに世界の多様性を踏まえて社会で活躍できる人材を養成するとともに、そのために必要な教育研究活動を展開し、それらを通じて社会に貢献していくことを目的としています。そのため、次のような学生を求めています。

- ① 興味をもった事柄や分野についての本を読み、その内容についてまとめることができる人【知識・技能】
- ② 日本語、中国語、英語などの言語について学ぶための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 日本や外国の文学や思想、文化について学ぶための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ④ 外国語を活用して仕事をしたり、国際交流などの場において活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 日本と外国の相互理解のための知識や能力を身につけたいと考えている人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「国語」「外国語（英語）」、その他の外国語を中心としつつ、日本の文化・歴史に関する教科、あるいは中国語圏の文化や歴史にかかわる教科、あるいは英語圏の文化や歴史にかかわる教科について幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢、あるいは異文化理解や異文化交流に積極的な姿勢を有していることを望みます。

●日本文学科

大学及び文学部の人材養成の目的その他の教育研究上の目的を踏まえ、日本の文学、文化および言語に関連する領域にかかわる知識を活用して、日本の文化と異文化を相対的に把握し、国際社会の中で活躍できる人材を養成するとともに、そのために必要な教育研究活動を展開し、それらを通じて社会に貢献していくことを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 日本の文学・文化や言語について基礎的な知識を有する人【知識・技能】
- ② 人間やその営みについて、さまざまな情報を理解し、批判的に考え、自分独自の意見を表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 言語や文化に関する知識や見解を社会のために役立たせる意欲を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 文芸創作の意欲があり、創造性の豊かな人【思考力・判断力・表現力】

そこで、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力にかかわる「国語」を中心としつつ、「外国語（英語）」や、日本の文化・歴史に関する科目も含め、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。

●中国学科

大学及び文学部の人材養成の目的その他の教育研究上の目的を踏まえ、中国語圏に関する文学、文化および言語に関連する領域にかかわる知識を活用して、自己および他者を見つめて相互理解を形成し、さらに世界の多様性を踏まえて社会で活躍できる人材を養成するとともに、そのために必要な教育研究活動を展開し、それらを通じて社会に貢献していくことを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 高等学校等で学ぶレベルの基礎的な国語力・外国語への理解力を備えている人【知識・技能】
- ② 中国語圏やアジアの言語や文化に関するさまざまな情報を理解し、批判的に考え、自分独自の意見を表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 中国語を通じたコミュニケーションおよび中国語の古典や現代の文献に興味を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 中国語や中国古典文の教育に興味をもち、中国語や漢文などを含む国語の教員として社会に貢献することを旨とする人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 海外で学ぶことや働くことを目標としている人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「国語」「外国語」を中心としつつ、中国語圏の文化や歴史にかかわる教科について幅広く学んでいることを望みます。また、異文化理解や異文化交流に積極的な姿勢を有していることを望みます。

●英米学科

大学及び文学部の人材養成の目的その他の教育研究上の目的を踏まえ、英語圏に関する文学、文化および言語に関連する領域にかかわる知識を活用して、国際交流に携わるとともに、現代社会を取り巻く諸問題と向き合い、英語を使ってその解決に積極的に取り組むことのできる人材を養成するとともに、そのために必要な教育研究活動を展開し、それらを通じて社会に貢献していくことを目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 高等学校等で学ぶレベルの基礎的な英語力を備えている人【知識・技能】
- ② 英語圏の言語や文化に関するさまざまな情報を理解し、批判的に考え、自分独自の意見を表現するための基礎となる思考力・判断力・表現力を有している人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 英語を通じた東西文化の交流に興味を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 英語教育に興味をもち、英語の教員として社会に貢献することを目指す人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 海外で学ぶことや働くことを目標としている人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「国語」「外国語（英語）」を中心としつつ、英語圏の文化や歴史にかかわる教科について幅広く学んでいることを望みます。また、異文化理解や異文化交流に積極的な姿勢を有していることを望みます。

<歴史学部>

歴史学部では、歴史の学びによって思考力・判断力・表現力が涵養された人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 世界史・日本史・地理など地理歴史科目のいずれかについてより広範な知識を有している人【知識・技能】
- ② 自分の考えを言葉や文章で表現できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 歴史や文化について関心のある人【主体的に取り組む態度】
- ④ 大学での学修を活かして、社会に積極的にかかわろうとする人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「地理歴史科目」を中心としつつ、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

●歴史学科

歴史学科では、歴史的な文献史料の学びによって思考力・判断力・表現力が涵養された人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 世界史や日本史いずれかについて、高等学校等における学習内容を十分に理解できている人【知識・技能】
- ② 日本史・東洋史・西洋史のいずれかについて、強い関心を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 自分の考えを言葉や文章で表現できる人【主体的に取り組む態度】
- ④ 歴史の学修を通じて高度な思考力・判断力・表現力を身につけたい人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 学修成果を活かして、社会に積極的にかかわろうとする人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「地理歴史科目（歴史総合・日本史探究・世界史探究）」を中心としつつ、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

●歴史文化学科

歴史文化学科では、歴史的な文化事象の学びによって思考力・判断力・表現力が涵養された人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 世界史・日本史・地理など地理歴史科目のいずれかについて、高等学校等における学習内容を十分に理解できている人【知識・技能】
- ② 歴史的な文化事象について、強い関心を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 自分の考えを言葉や文章で表現できる人【主体的に取り組む態度】
- ④ 歴史的な文化事象に関する学修を通じて、高度な思考力・判断力・表現力を身につけたい人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 学修成果を活かして、社会に積極的にかかわろうとする人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、「地理歴史科目（歴史総合・地理総合・地理探究・日本史探究・世界史探究）」を中心としつつ、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

<教育学部>

教育学部は教育・保育・心理職の重要性を自覚し、「理論と実践の往還」のもとで構築した知識・技能を活用して、協働的に子ども・人の健やかな発達成長や心にかかわる諸課題の解決・支援と新たな創造に取り組むことができる人材を養成します。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 教育学・臨床心理学を学修するに必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 常に社会（特に学校・園や臨床心理学の必要とされる現場）に関する問題意識を持ち、他者と協力して諸課題の解決や今後のあり方を論理的に考えようとする人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 将来、教育・保育・心理職として活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ④ 自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ努力を惜しまない人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、学習指導要領にある「各学科に共通する各教科」（例えば国語や芸術、外国語など）を幅広く学習するとともに、得意教科を持つことを望みます。

●教育学科

教育学科は教育職の重要性を自覚し、「理論と実践の往還」のもとで構築した知識・技能を活用して、協働的に子ども・人の健やかな発達成長にかかわる諸課題の解決と新たな創造に取り組むことができる人材を養成します。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 教育学を学修するに必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 常に社会（特に学校）に関する問題意識を持ち、他者と協力して諸課題の解決や今後のあり方を論理的に考えようとする人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 将来、教育職として活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ④ 自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ努力を惜しまない人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、学習指導要領にある「各学科に共通する各教科」（例えば国語や芸術、外国語など）を幅広く学習するとともに、得意教科を持つことを望みます。

●幼児教育学科

幼児教育学科は教育・保育職の重要性を自覚し、「理論と実践の往還」のもとで構築した知識・技能を活用して、協働的に子どもの健やかな発達成長にかかわる諸課題の解決と新たな創造に取り組むことができる人材を養成します。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 幼児教育学を学修するに必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 常に社会（特に園）に関する問題意識を持ち、他者と協力して諸課題の解決や今後のあり方を論理的に考えようとする人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 将来、教育・保育職として活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ④ 自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ努力を惜しまない人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、学習指導要領にある「各学科に共通する各教科」（例えば国語や芸術、外国語など）を幅広く学習するとともに、得意教科を持つことを望みます。

●臨床心理学科

臨床心理学科は心理職の重要性を自覚し、「理論と実践の往還」のもとで構築した知識・技能を活用して、協働的に心にかかわる諸課題の解決・支援と新たな創造に取り組むことができる人材を養成します。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 臨床心理学を学修するに必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 常に社会（特に臨床心理学の必要とされる現場）に関する問題意識を持ち、他者と協力して諸課題の解決や今後のあり方を論理的に考えようとする人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 将来、心理職として活躍したいと考えている人【主体的に取り組む態度】
- ④ 自身の目標を設定し、それに向けて弛まぬ努力を惜しまない人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、学習指導要領にある「各学科に共通する各教科」（例えば国語や芸術、外国語など）を幅広く学習するとともに、得意教科を持つことを望みます。

<社会学部>

社会学部では、社会学や公共政策学をはじめとする専門領域の学びを通して、現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性と実行力を持ち、主体的に共生社会の形成に貢献できる人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 社会学、公共政策学と関連分野を学ぶ基礎となる学力を有する人【知識・技能】
- ② 他者の考えを理解するとともに尊重し、共に行動できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 学習や体験を通じて社会に対する問題意識を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 現代社会の諸課題に積極的に取り組む意欲がある人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力にかかわる「国語」「外国語（英語）」を中心としつつ、「数学」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。

●現代社会学科

現代社会学科では、社会学をはじめとする専門領域の学びを通して、現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性と実行力を持ち、主体的に共生社会の形成に貢献できる人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 社会学を学ぶ基礎となる学力を有する人【知識・技能】
- ② 他者の考えを理解するとともに尊重し、共に行動できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 学習や体験を通じて社会に対する問題意識を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 現代社会の諸課題に積極的に取り組む意欲がある人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力にかかわる「国語」「外国語（英語）」を中心としつつ、「数学」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。

●公共政策学科

公共政策学科では、公共政策学をはじめとする専門領域の学びを通して、現代社会の諸課題に積極的に取り組むために必要な専門性と実行力を持ち、主体的に共生社会の形成に貢献できる人材の養成を目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 公共政策学を学ぶ基礎となる学力を有する人【知識・技能】
- ② 他者の考えを理解するとともに尊重し、共に行動できる人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 学習や体験を通じて社会に対する問題意識を有する人【主体的に取り組む態度】
- ④ 現代社会の諸課題に積極的に取り組む意欲がある人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習では、コミュニケーション能力にかかわる「国語」「外国語（英語）」を中心としつつ、「数学」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎的学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。また、多くの人と積極的にかかわる意志や姿勢を有していることを望みます。

<社会福祉学部>

社会福祉学部では、さまざまな人々が安心して一緒に暮らせる社会を目指して学びを深めます。他の人の考え方を理解したり、一人ひとりが持つ権利について考えたりする力を育てます。また、自分の大切な価値観を守りながら、違う考えを持つ人々とも話し合い、社会の問題を解決する新しいアイデアを生み出す力を身につけます。社会福祉学部では、こうした考え方や目標に共感し、専門的な分野に興味を持って積極的に学ぼうとする人や、他の人と協力しながら自分の夢や社会に役立つことを実現しようとする人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 必要な情報を適切に取り取り複数の点から物事を捉えられる人【知識・技能】
- ② 憲法に定められている国民の権利について理解している人【知識・技能】
- ③ 社会が発展してきた過程を理解している人【知識・技能】
- ④ 自分も他者も大切にするための手段や方法を考えられる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 自分とは違う意見や視点に関心をもって他者と接することができる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑥ 世の中の常識に疑問や違和感をもったことがある人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、社会福祉と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語(英語)」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

●社会福祉学科

社会福祉学科では、さまざまな人々が安心して一緒に暮らせる社会を目指して学びを深めます。他の人の考え方を理解したり、一人ひとりが持つ権利について考えたりする力を育てます。また、自分の大切な価値観を守りながら、違う考えを持つ人々とも話し合い、社会の問題を解決する新しいアイデアを生み出す力を身につけます。社会福祉学科では、こうした考え方や目標に共感し、専門的な分野に興味を持って積極的に学ぼうとする人や、他の人と協力しながら自分の夢や社会に役立つことを実現しようとする人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 必要な情報を適切に取り取り複数の点から物事を捉えられる人【知識・技能】
- ② 憲法に定められている国民の権利について理解している人【知識・技能】
- ③ 社会が発展してきた過程を理解している人【知識・技能】
- ④ 自分も他者も大切にするための手段や方法を考えられる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 自分とは違う意見や視点に関心をもって他者と接することができる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑥ 世の中の常識に疑問や違和感をもったことがある人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、社会福祉と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語(英語)」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎学力にかかわる教科についても幅広く学んでいることを望みます。

- ① 必要な情報を適切に読み取り複数の点から物事を捉えられる人【知識・技能】
- ② 憲法に定められている国民の権利について理解している人【知識・技能】
- ③ 社会が発展してきた過程を理解している人【知識・技能】
- ④ 自分も他者も大切にするための手段や方法を考えられる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 自分とは違う意見や視点に関心をもって他者と接することができる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑥ 世の中の常識に疑問や違和感をもったことがある人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、社会福祉と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語（英語）」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎学力に関わる教科についても幅広く学んでいることが望まれます。

●社会福祉学科

社会福祉学科では、様々な人々が安心して一緒に暮らせる社会を目指して学びを深めます。他の人の考え方を理解したり、一人ひとりが持つ権利について考えたりする力を育てます。また、自分の大切な価値観を守りながら、違う考えを持つ人々とも話し合い、社会の問題を解決する新しいアイデアを生み出す力を身につけます。社会福祉学科では、こうした考え方や目標に共感し、専門的な分野に興味を持って積極的に学ぼうとする人や、他の人と協力しながら自分の夢や社会に役立つことを実現しようとする人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 必要な情報を適切に読み取り複数の点から物事を捉えられる人【知識・技能】
- ② 憲法に定められている国民の権利について理解している人【知識・技能】
- ③ 社会が発展してきた過程を理解している人【知識・技能】
- ④ 自分も他者も大切にするための手段や方法を考えられる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 自分とは違う意見や視点に関心をもって他者と接することができる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑥ 世の中の常識に疑問や違和感をもったことがある人【主体的に取り組む態度】

高等学校等までの学習では、社会福祉と関連が深い教科である「国語」「地理歴史」を中心としつつ、「外国語（英語）」「公民」など、専門的な学修に必要な基礎学力に関わる教科についても幅広く学んでいることが望まれます。

<保健医療技術学部>

保健医療技術学部では、高い倫理観と他者への思いやり、円滑なコミュニケーション能力を有し、医療・福祉および健康支援に関する専門的な知識と技術を修得することを教育の基盤としています。また、生涯にわたって自己研鑽を続けながら、自己実現や社会貢献、人々の健康や生活の質の向上に主体的に取り組むことのできる人材の育成を目的としています。このような本学部の理念に共感し、各専門分野への強い関心と向学心を持ち、他者と協調・協働しながら主体的に学び、将来にわたって社会に貢献しようとする多様な人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 専門科目を学修するために必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 直面する問題に立ち向かい、問題解決のために効果的なあり方を考え、行動することができる思考力・創造性と判断力を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 相手に伝わるように内容を十分に咀嚼し、分かりやすい言葉で話せる表現力を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ④ 専門領域のプロフェッショナルを目指す高い目的意識をもち、真摯な取り組みのできる人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 社会や地域に貢献したいという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

専門分野を学修するために必要な基礎学力（読解力、表現力、論理的思考力）があり、目指す専門領域に強い興味をもち常に学び続ける生涯学修の意欲を有する人を望みます。

●理学療法学科

理学療法学科では、専攻する学問分野における専門的な知識・技能を身につけ、生涯にわたって学び続けながら、自己実現や社会貢献に向けて活動することのできる人材の養成を目的としています。このような本学の人材養成の目的に共感し、理学療法の専門分野において強い関心と学ぼうとする確かな意欲をもち、主体的に活動する人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 理学療法を学修するために必要な基礎学力を有している人【知識・技能】
- ② 保健・医療の現場で直面する課題に関心を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 理学療法士を目指す高い目的意識をもち、真摯な取り組みのできる人【主体的に取り組む態度】
- ④ 理学療法士として社会や地域に貢献したいという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

専門的な学修に必要な基礎学力（読解力、表現力、論理的思考力）を幅広く身につけていることが望まれます。

●作業療法学科

作業療法学科では、高い倫理観と他者への思いやりや円滑なコミュニケーション能力を有し、人々の健康に貢献できる作業療法士を育成します。また、保健・医療に関する知識と専門職としての技術をもち、生涯にわたって自己研鑽を続ける力を備えるような人材育成を目的としています。このような本学科の目的に共感し、作業療法に強い関心と学ぼうとする確かな意欲をもち、他者と協調・協働することで、自己実現や社会貢献に向けて主体的に活動する意欲がある多様な人を受け入れます。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 作業療法を学修するために必要な基礎学力を有する人【知識・技能】
- ② 問題解決のために効果的なあり方を考え、行動することができる思考力・創造性と判断力を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ③ 相手に伝わるように話せる表現力を有する人【思考力・判断力・表現力】
- ④ 他者の話をよく聞き、他者の話から学ぶ協調的姿勢を有する人【主体的に取り組む態度】
- ⑤ 作業療法士として社会や地域に貢献したいという意欲を有する人【主体的に取り組む態度】

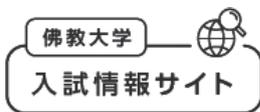
作業療法を学修するために必要な基礎学力（読解力、表現力、論理的思考力）があり、作業療法に興味をもち学び続ける意欲を有する人を望みます。

<看護学部>

看護学部では、豊かな人間性と倫理観を基盤に看護職として人を思いやり共感できる人材の養成を目指しています。あわせて、看護学の学識と基礎的な看護実践能力、対象を理解し支援するためのコミュニケーション力、多職種と協働する力、自己研鑽する力、研究的思考やグローバルな視点を備え、地域社会や人々の健康に貢献できる人材の養成を目的としています。そのために、次のような学生を求めています。

- ① 看護学を学ぶために必要な基礎学力を備え、学習を継続する力を有する人【知識・技能】
- ② 看護職に求められるスキルを高め、地域で生活する人々の健康に貢献したいという意欲がある人【知識・技能】
- ③ 看護学を学び、豊かな感性と論理的に考え判断する力、情報を活用する力を身につけようと努力できる人【思考力・判断力・表現力】
- ④ 他者の考えを知るとともに、自分の考えを自分の言葉で表現できる人【思考力・判断力・表現力】
- ⑤ 人への深い関心をもち、人の可能性を信じ、自分も他者も大切にできる人【主体的に取り組む態度】
- ⑥ 他者を思いやることができ、多様な人と主体的にコミュニケーションをとることができる人【主体的に取り組む態度】

そこで、高等学校等での学習は、コミュニケーション能力に関わる「国語」「外国語（英語）」を中心に、「数学」「理科」なども含め、専門的な学習に必要な基礎的学力に関わる教科についても幅広く学んでいることを望みます。



<https://www.bukkyo-u.ac.jp/admission/>

入試やオープンキャンパスに関する情報をはじめ、
学部・学科、キャンパスライフなど受験生の皆さんへ向けた情報が満載！



佛教大学 入学部
公式Instagram

キャンパスライフやキャンパスの風景など、
本学の魅力をお伝えします。ぜひフォローしてください！



佛教大学 入学部
公式X

入試情報・オープンキャンパス等の情報発信を
していきます。ぜひフォローしてください！



情報配信中！
LINE ID @bu_nyugaku

LINEの「友達追加」から
「ID検索」を選択して、登録してください。
右のQRコードからも登録できます。
オープンキャンパスや入試対策講座などの
受験生向けのイベント情報を配信しています。



【問合せ先】

佛教大学入学部入学課

〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町 96（紫野キャンパス鷹陵館 1 階）

TEL：075-366-5550（入学部直通）【事務取扱時間：平日 9:00～17:00】